

秩父市セーフコミュニティ 自殺予防対策委員会取組み紹介



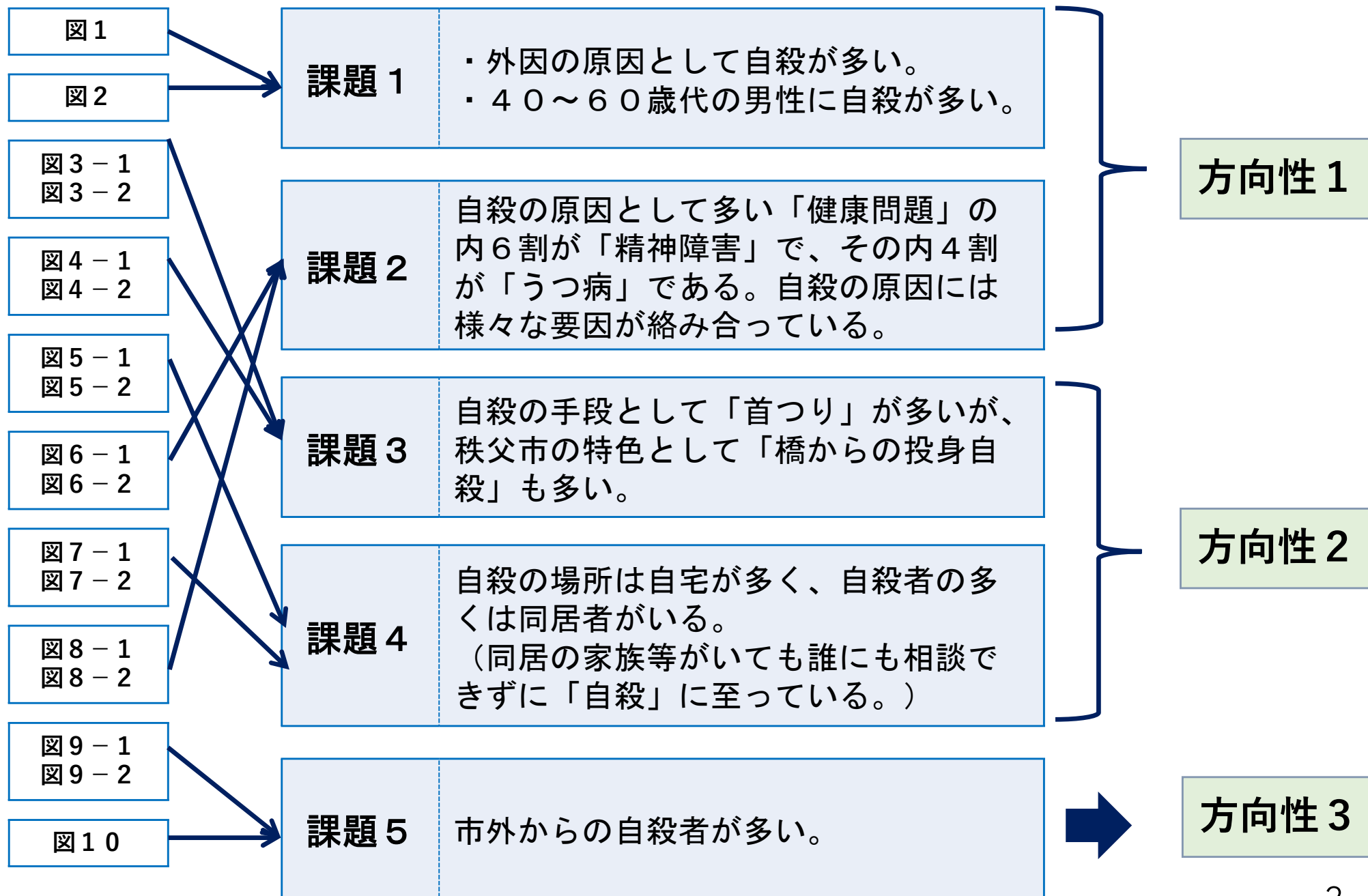
国際認証都市
セーフコミュニティちちぶ



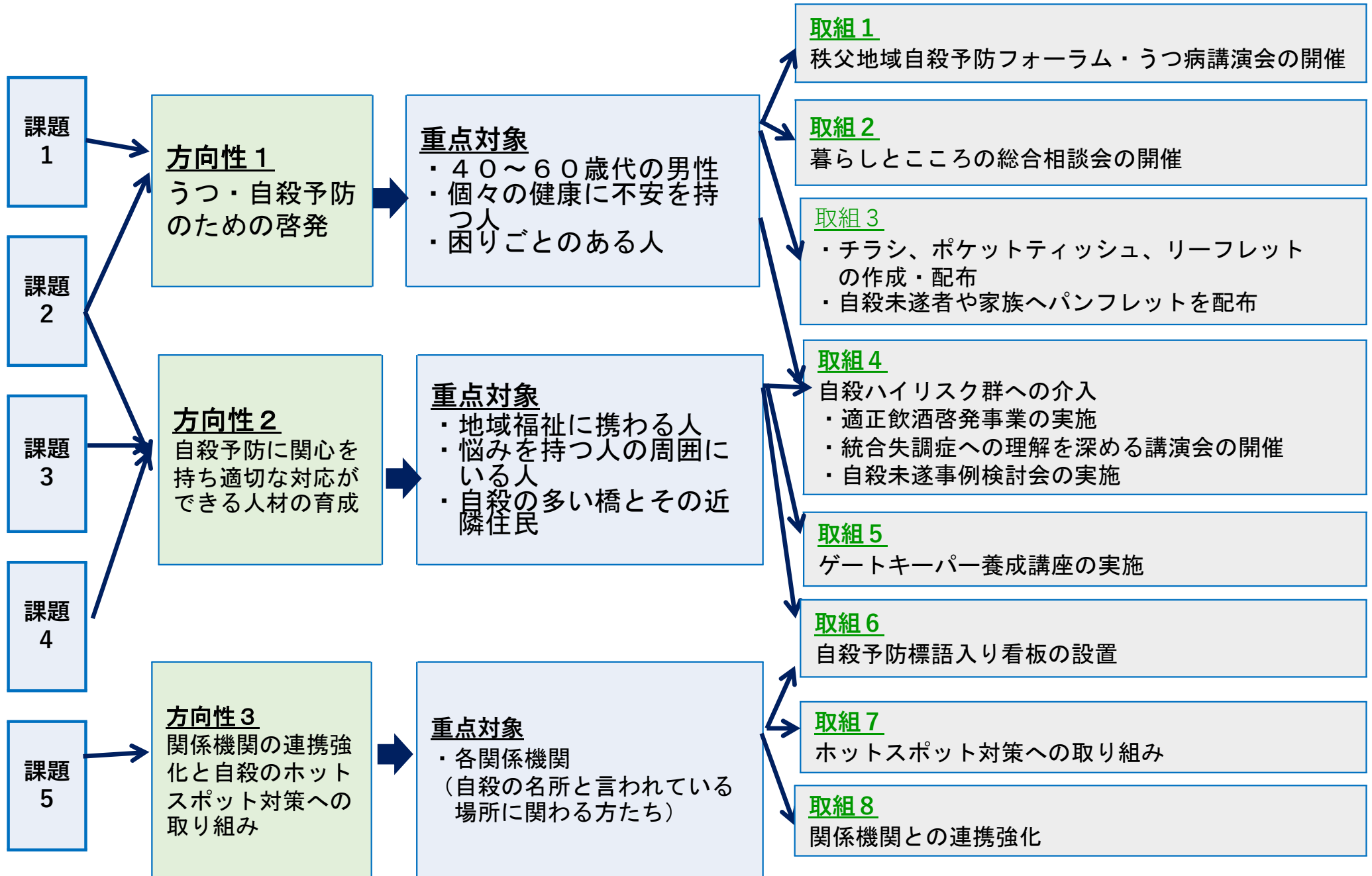
対策委員会の様子

発表者：委員長 竹越 至
所 属：秩父郡市医師会

地域診断による課題の整理



課題・方向性・重点対象・取組の整理



プログラムの運営状況 1

区分	進行状況			
	2015年 (認証)	2016年	2017年	2018年
①秩父地域自殺予防フォーラム・うつ病講演会の開催	継続 自殺予防 フォーラム	自殺予防 フォーラム	自殺予防 フォーラム	自殺予防 フォーラム
②暮らしとこころの総合相談会の開催	継続 市民相談を案内	市民相談を案内	終了 市民相談を案内	市民相談を案内
③ - 1チラシ、ポケットティッシュ、リーフレットの作成・配布	継続 キャンペーン等 で配布	キャンペーン 等で配布	キャンペーン 等で配布	キャンペーン 等で配布
③ - 2自殺未遂者や家族へパンフレットを配布	継続 パンフレット配 布	パンフレット 配布	パンフレット 配布	パンフレット 配布
④ - 1適正飲酒啓発事業の実施	継続 スクリーニング テストなど	スクリーニン グテストなど	スクリーニン グテストなど	スクリーニン グテストなど

プログラムの運営状況 2

区分	進行状況			
	2015年 (認証)	2016年	2017年	2018年
④ - 2統合失調症への理解を深める講演会の開催	継続 各種講演会の実施	各種講演会の実施	終了 各種講演会の実施	各種講演会の実施
④ - 3自殺未遂事例検討会の実施	継続 各種講演会の実施	各種講演会の実施	終了 各種講演会の実施	各種講演会の実施
⑤ゲートキーパー養成講座の実施	継続 講座開催		講座開催	講座開催
⑥自殺予防標語入り看板の設置	継続 看板設置	看板設置	看板設置	看板設置
⑦ホットスポット対策への取り組み	継続	ネット規制の要望 (埼玉県)	SNSを学ぶ研修会	
⑧関係機関との連携強化	継続 会議・研修会	会議・研修会	会議・研修会	会議・研修会

方向性 1 うつ・自殺予防のための啓発

取組 1 秩父地域自殺予防フォーラム・うつ病講演会の開催

【概要】

一般市民を対象に、自殺予防とうつ病に対する理解を深めるとともに、自殺の問題を秩父地域全体で考え取り組んで行くことを目的に、2009年度から年1回開催している。



自殺予防フォーラムの様子

【活動実績】

2012年度	360人来場	2013年度	200人来場
2014年度	500人来場	2015年度	500人来場
2016年度	500人来場	2017年度	333人来場
2018年度	590人来場		

2014年からは、各関係機関が参加を呼び掛けた結果、参加者が倍増した。



こころ元気研究所
所長 鎌田 敏 氏 6

方向性 1 ▶ うつ・自殺予防のための啓発

取組 2

(その1) チラシ、ポケットティッシュ、リーフレットの作成・配布

【概要】

チラシ・ポケットティッシュ・リーフレットを作成し、保健センターまつりや埼玉県・西武鉄道と共催の自殺予防キャンペーン、保健センターでの各種保健事業等において配布した。

【活動実績】

保健センターまつり 年1回
西武鉄道キャンペーン 年1～2回

配布数： チラシ・ポスター 約 13,700枚
(2010年～) ポケットティッシュ 約 65,000 個
リーフレット 等 約 4,000 枚

(2017年)コットンバック 600部作成・配布

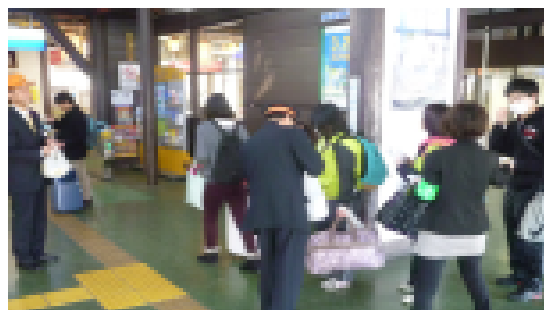
【SCを始めてからの変化】

市報にうつ病予防の記事を掲載。

今後もチラシの配布等による啓発を継続していく。自殺予防キャンペーン



保健センターまつり



方向性 1 ▶ うつ・自殺予防のための啓発

取組 2 (その 2) 自殺未遂者やその家族へパンフレットを配布

【概要】

自殺未遂者やその家族に対し、救急搬送の際や未遂者への対応の際等に、相談機関一覧を掲載したパンフレット『生きていくことがつらくなってしまったあなたへ』を配布し、再発予防を図る。

【活動実績】

パンフレット作成

2013年度 600 枚

2014年度 200 枚

【SCを始めてからの変化】

配布依頼先に医院・病院を加えることを検討。自殺未遂者から相談があった場合、適切な支援機関へつなげるように努める。



方向性 2

自殺予防に関心を持ち 適切な対応ができる人材の育成

取組3 ゲートキーパー養成講座の実施

【概要】

民生委員・児童委員、健康推進員、理容師、美容師、保健センター臨時職員、高齢者相談支援センター職員、庁内自殺予防対策連携会議のメンバー等を対象に養成講座を実施。

【実績】

2012年度～

17回 581人養成



理容師対象のゲートキーパー養成講座



臨床心理士の講話

方向性 2

自殺予防に関心を持ち 適切な対応ができる人材の育成

取組4 自殺予防標語入り看板の設置

【概要】

地域住民が関心を持つことで、橋からの投身自殺を防ぐため、過去に自殺があり危険と思われる橋への「自殺予防のための標語を利用した看板」を設置した。

秩父橋

【活動実績】

2012年度から設置開始

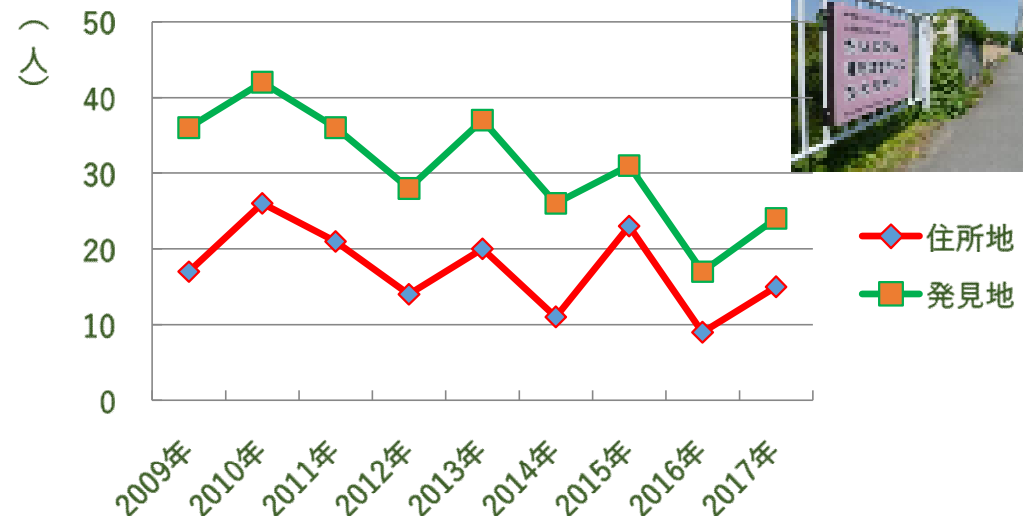
市内12か所の橋に23枚設置

※設置により、河川等での自殺がピーク時より半減した。(認証時)

【SCを始めてからの変化】

移動式立て看板を作成し、ホットスポットやイベント等で有効活用している。

住所地と発見地別でみた自殺者数



内閣府：地域における自殺の基礎資料

方向性 3

自殺のホットスポット対策への 取り組みと関係機関との連携強化

取組5 ホットスポット対策への取り組み

【概要】

「自殺のホットスポット対策」の研修会や講演会を実施し、
取り組みの先行事例や対応を学ぶ。

【活動実績】

・ 2014年12月17日 45人参加

『富士樹海地区の取り組み』、『地域外からの自殺企図者の実態』

・ 2016年7月29日 インターネット上の自殺関連情報対策の要望書を県へ提出

・ 2018年3月1日 SNSについて学ぶ研修会



【SCを始めてからの変化】

秩父市外からの自殺者が多いことがわかり、ホットスポット対策に取り組むことになった。

方向性 3

自殺のホットスポット対策への 取り組みと関係機関との連携強化

取組 6 関係機関との連携強化

【概要】

秩父地域自殺予防対策連絡会を2011年度に設置。
秩父地域の自殺対策の推進を図るため、連絡会を
設置した。

【活動実績】

毎年1～2回の研修会・会議を実施情報を共有。

- ・2016年3月：研修会「平成27年の秩父地域の自殺の現状」
- ・2017年3月：自死遺族会の方の体験談講演
- ・2018年3月：家族を亡くした遺族の心のケア講演

【今後の予定】

各々の団体が、自殺予防対策について取り組み、地域での
自殺対策の推進が図れるよう、さらに連携を強化していく。



会議の議論の様子



現在の課題と今後の方向性

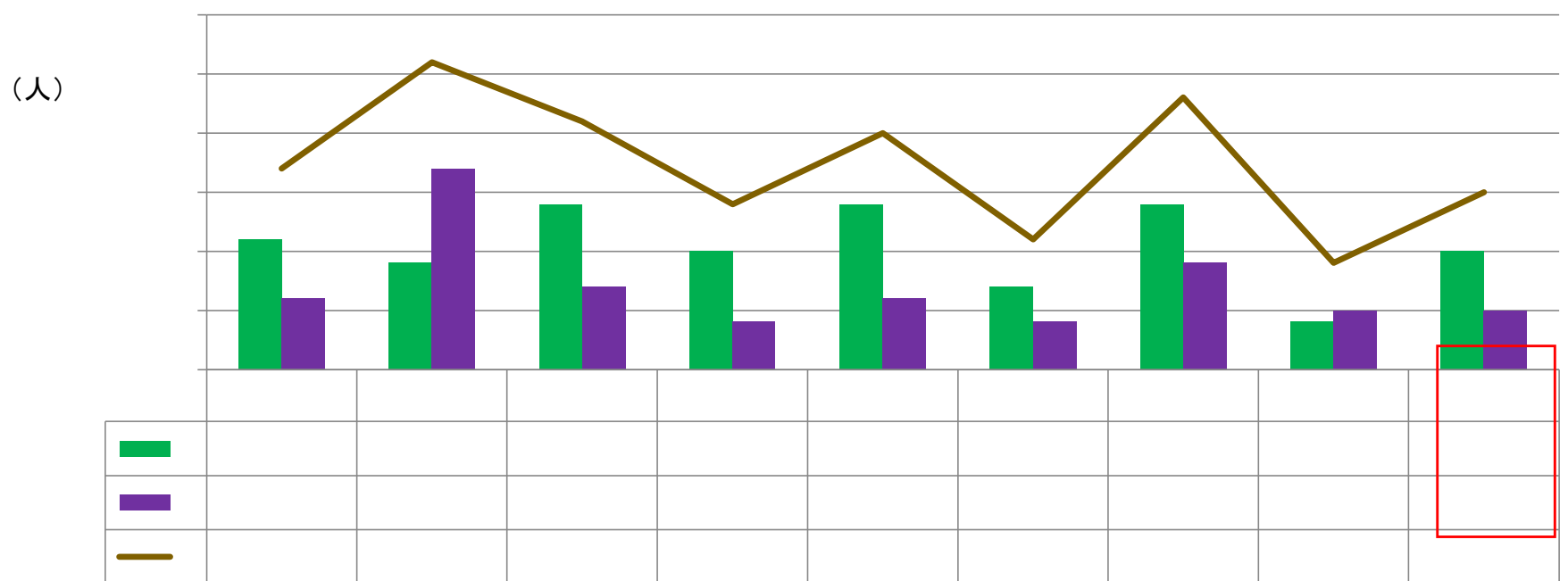
1、セーフコミュニティに取り組んで良かった点

- ・データ分析して、課題を見つけ、自殺予防対策を実施するという仕組みができた
- ・根拠に基づいた取組が大切であることがわかった。
- ・今までよりも、委員や関係機関との繋がりが深まった。

2、現在の変化

- ・2010年に26人だった自殺者が、増減しながら、2017年には15人に減少した。

男女別自殺者数(秩父市)



各種講演会（様々な年齢層にアプローチ）

若年層のメンタルヘルス講演会

40歳未満の若年層を対象に企業などに参加を呼び掛け実施

【テーマ】

『ここをメンテナンスして
ストレスに強い自分を作う！！』

【日時】 2016年1月13日（水）

【会場】 歴史文化伝承館 ホール

【参加者】 132人



自殺予防
について
考えても
らう

睡眠公開講座の開催

【テーマ】

『心と体と眠りの深い関係
～あなたは眠れていますか？～』

【日時】 2016年年3月12日（土）

【会場】 歴史文化伝承館 ホール

【参加者】 140人



自殺予防対策計画の策定スケジュール

- 2018年2月 市長を本部長とする「秩父市いのち支える自殺対策推進本部」を設置。自殺予防対策委員会の医師が専門家として加わりました。
- 2018年7月 自殺対策計画案の検討
- 2019年3月 自殺対策計画策定
- 2019年4月 自殺対策計画と連携した取組を開始

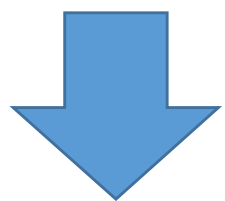
作業部会のメンバーとして関わり、計画の策定と見直し、そして、具体的な取組みへ

今日からできるセーフコミュニティ活動

地域のゲートキーパーとして協力を！

ゲートキーパー：自殺予防に関心を持ち、適切な対応ができる人材

- ①橋から飛び降りそうな人がいたら
- ②近所で悩みを抱えている人がいたら
- ③普段と様子が違ったら



できることのお力をお貸してください

- ①③声をかける
- ②③相談窓口につなげる

自殺に関する相談窓口
秩父市保健センター

0494-22-0648¹⁶

セーフコミュニティ 自殺予防対策委員会



ご清聴ありがとうございました！

